

2025年12月期 第1四半期 決算補足説明資料(連結)

2025年5月14日
シンクレイヤ株式会社
証券コード:1724

2025年12月期 第1四半期業績サマリ(経営成績)

前年同期比で売上は減少、営業利益・経常利益は増益、純利益で減益

売上高	：	2,618百万円	前年同期比 (▲5.2%)
営業利益	：	207百万円	(15.8%)
経常利益	：	191百万円	(1.3%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	：	122百万円	(▲9.8%)

業績サマリー

当第1四半期においては、トータル・インテグレーション部門において前期末に工事が進捗した影響により売上高は減少したものの、利益率の回復により売上総利益は増加いたしました。

一方、機器インテグレーション部門では光端末の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期比で微増となったものの、原材料費の上昇や一部利益率の相対的に低い案件の影響により、売上総利益は前年同期を下回りました。

2025年12月期 第1四半期業績サマリ(財政状況)

自己資本比率は50%を超え、強固な財務基盤を維持

(単位:百万円)

	FY2024 期末	FY2025 1Q	増減	主な要因
流動資産	7,544	7,355	▲ 188	現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加 完成工事未収入金の減少
固定資産	3,808	3,817	9	
資産合計	11,352	11,173	▲ 179	
流動負債	4,433	4,200	▲ 233	支払手形及び買掛金の増加 短期借入金、工事未払金の減少
固定負債	772	819	46	長期借入金の増加
負債合計	5,206	5,019	▲ 186	
純資産合計	6,146	6,153	7	利益剰余金の増加
自己資本比率	54.1%	55.1%	1pt	

事業部門別概況(トータル・インテグレーション部門)

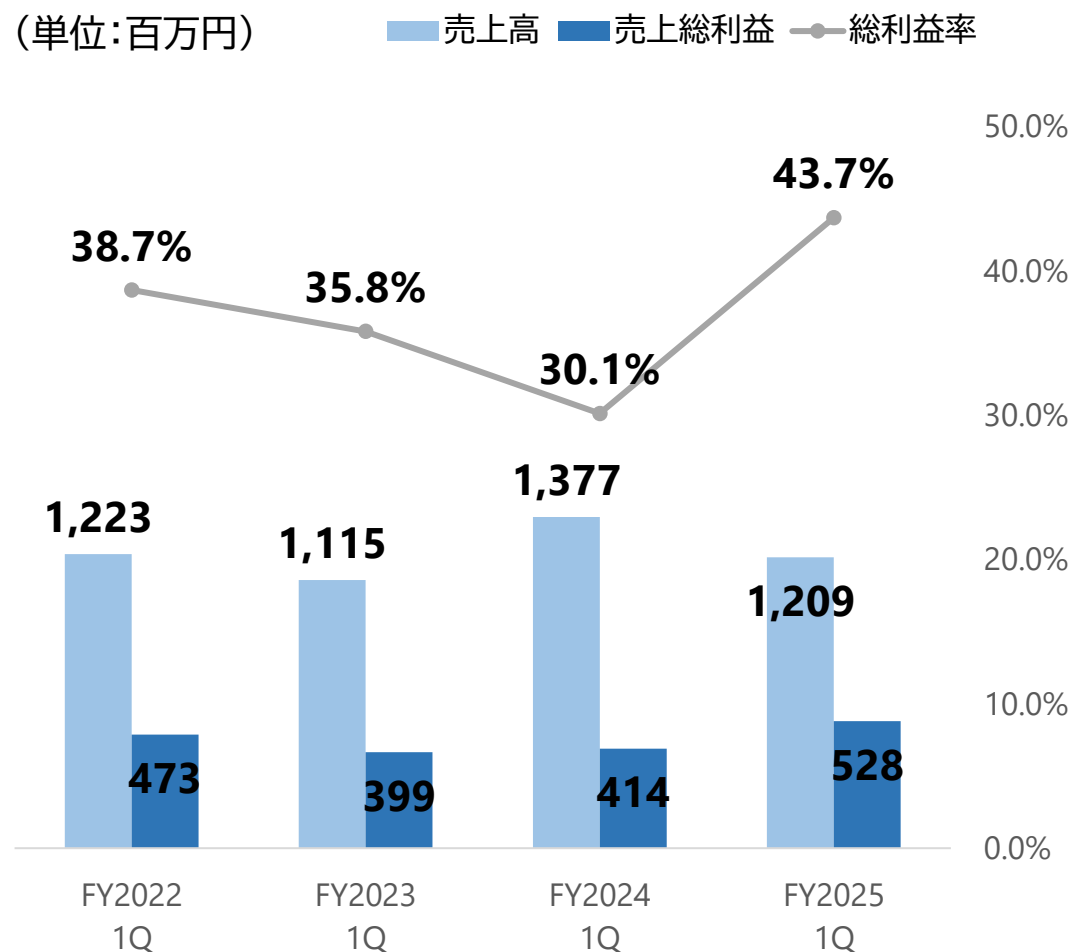
前期末に工事が進捗した反動で売上は減少、売上総利益率を改善し増益

売上

前期に受注した複数の大型FTTH工事案件において
前年期末に工事が大きく進んだことから
当第1四半期における進捗分が相対的に減少
その結果、進行基準に基づく売上計上額は
前年同四半期を下回り、売上高は1,209百万円
(前年同四半期比12.2%減)

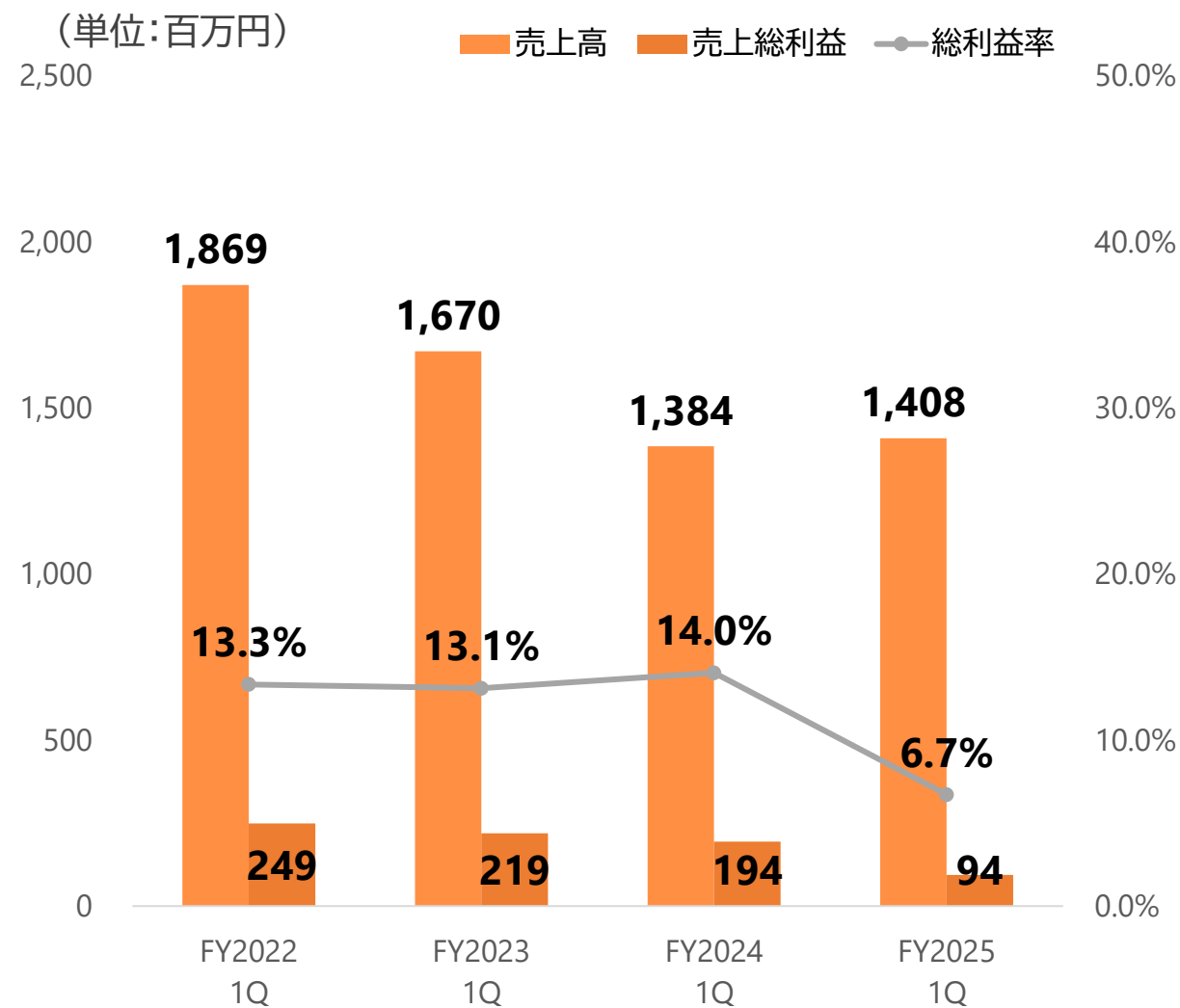
利益(売上総利益)

原価高騰等により一時的に低下していた利益水準が、
適正水準に回復し利益率が改善したことにより
前年同四半期に比して増益



事業部門別概況(機器インテグレーション部門)

通信・放送用光端末の販売が堅調に推移、売上総利益は減益



売上

通信および放送用光端末の販売が堅調に推移し、
 売上高は1,408百万円
 (前年同四半期比1.7%増)

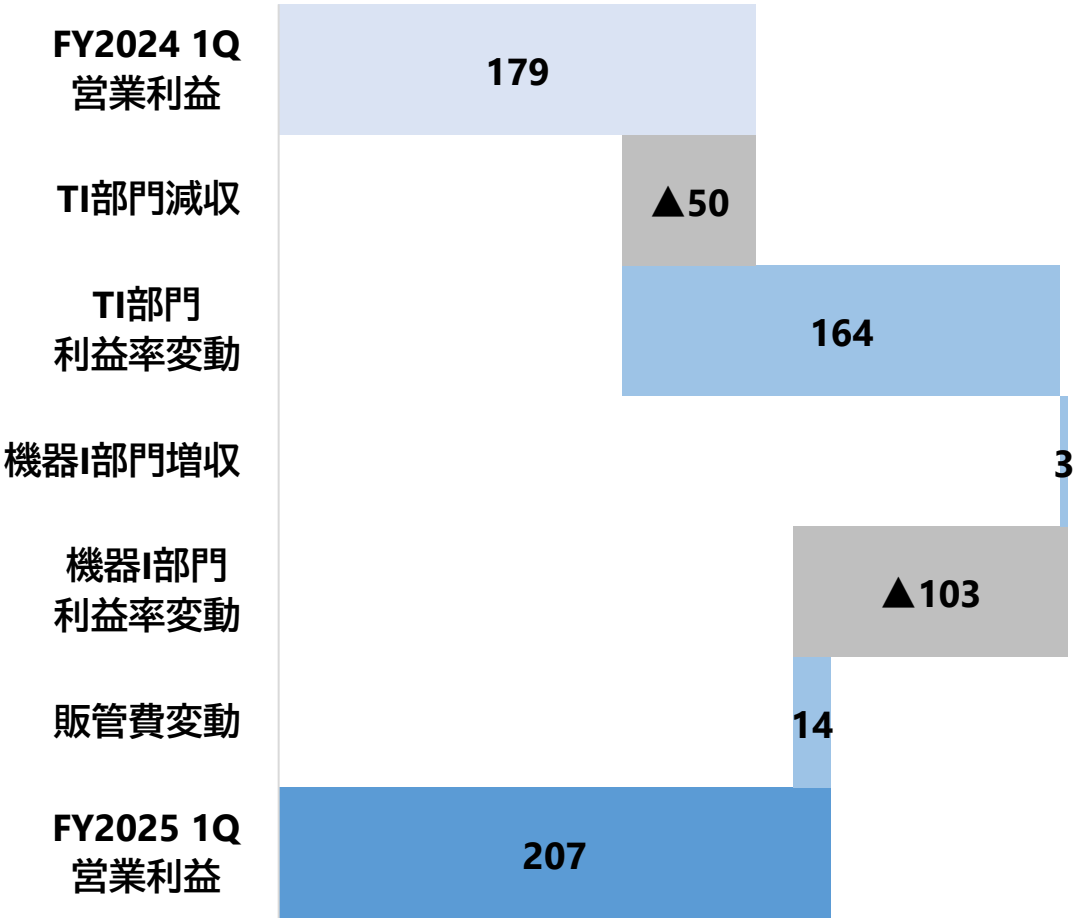
利益(売上総利益)

原材料価格の上昇に加え一部の大型案件において
 利益率が低水準で推移したことにより、
 前年同四半期に比して減益

営業利益増減(前年同期比)

TI部門の利益率上昇の影響が大きく増益、機器Iの利益率改善に課題を残す

(単位:百万円)



売上及び原価要因(+14百万円)

- ・売上の減少(トータル・インテグレーション部門)
- ・売上総利益率の増加(トータル・インテグレーション部門)
- ・売上総利益率の減少(機器インテグレーション部門)

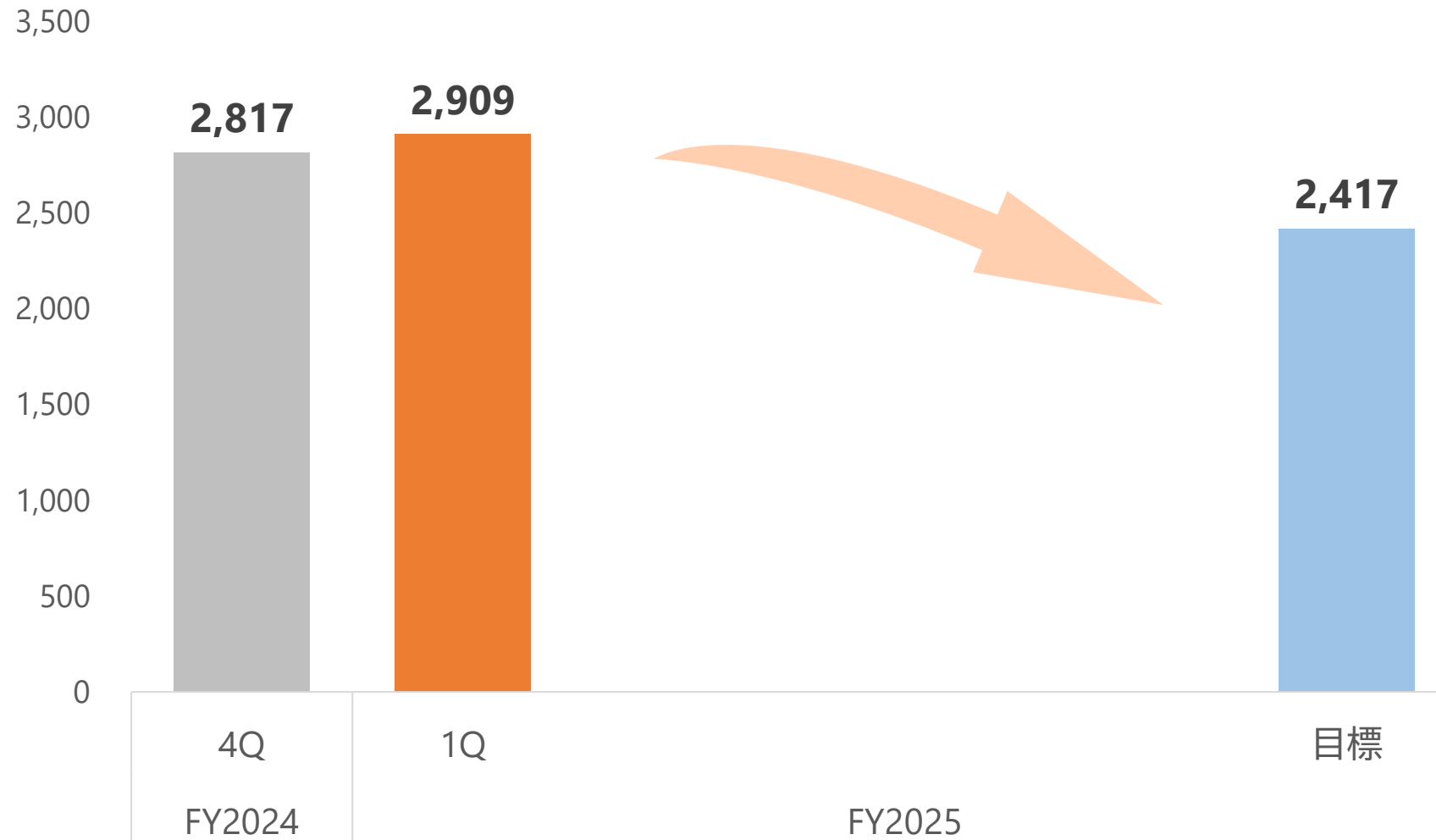
販管費要因(+14百万円)

- ・新拠点開設に伴い、前年同期に一時的に上がっていた諸経費が減少

効率性向上に向けた数値目標の進捗

今期納品予定の商品仕入れに伴い棚卸資産は一時的に増加、期末にかけ削減を目指す

(単位:百万円)



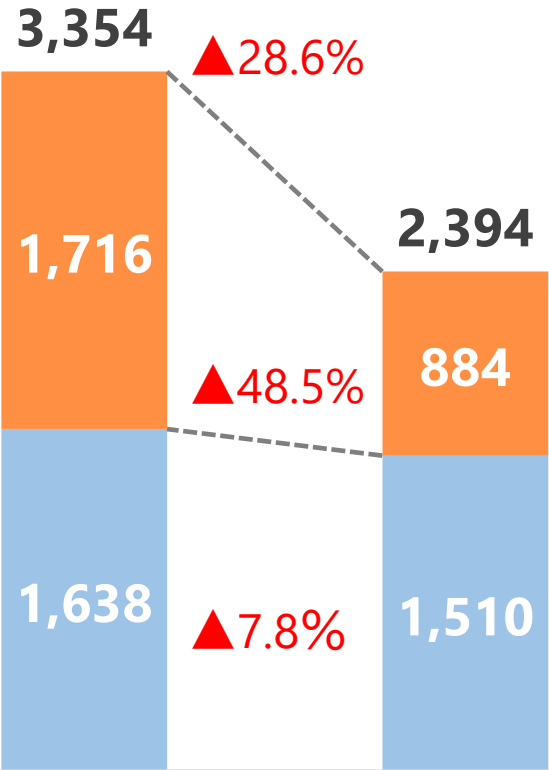
部門別 受注高・売上高・受注残高

工事完工により受注残高が減少。新ソリューション含む積極提案により水準の回復を図る

■ 機器インテグレーション部門
 ■ トータル・インテグレーション部門

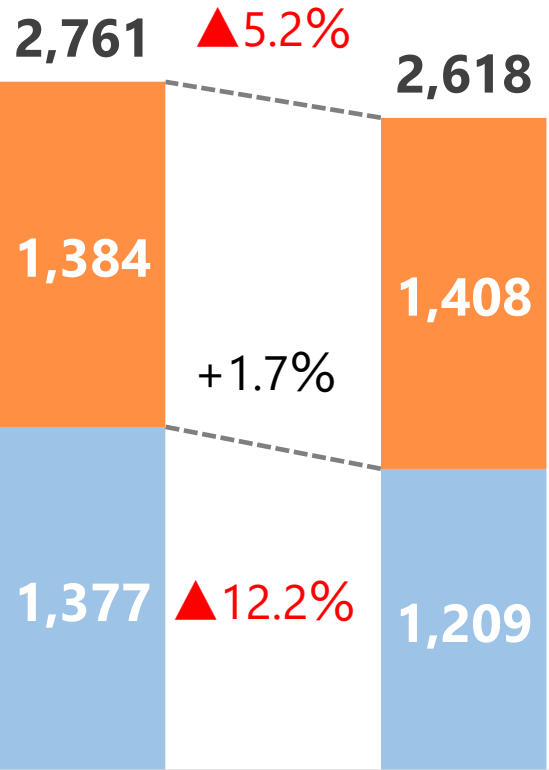
受注高

(単位:百万円)



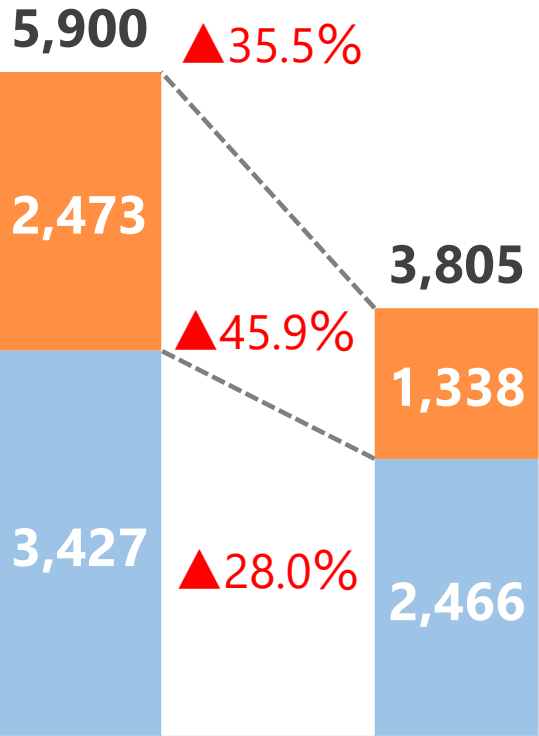
売上高

(単位:百万円)



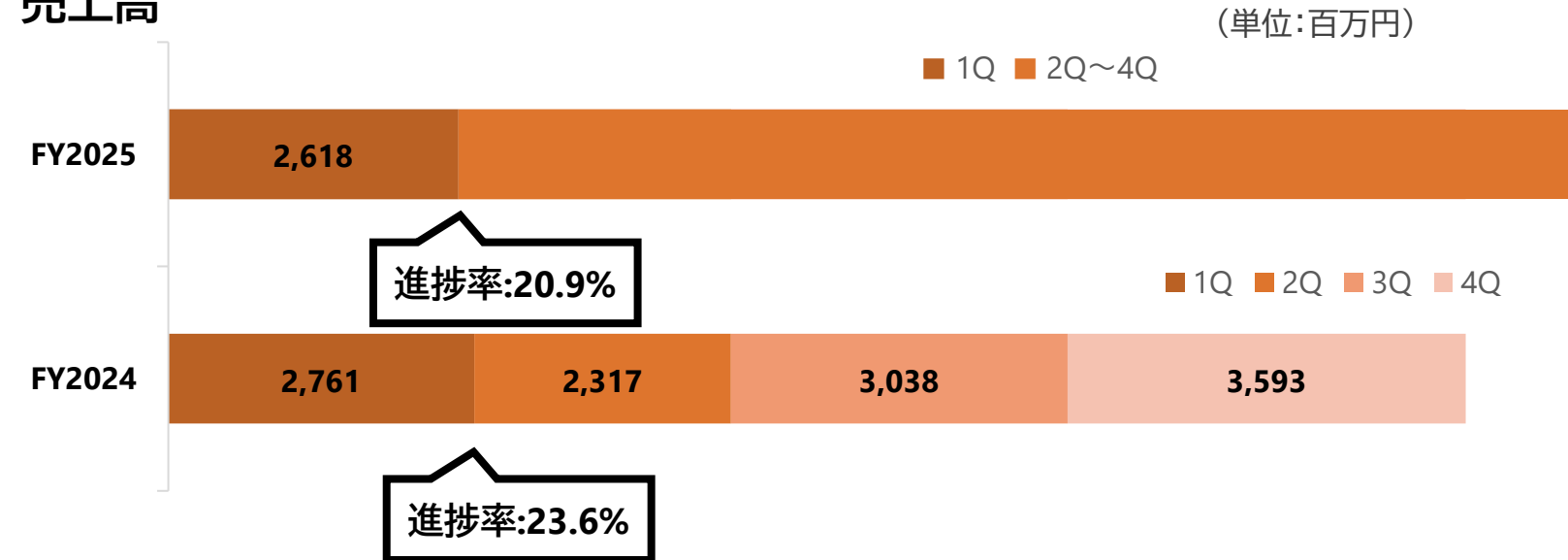
受注残高

(単位:百万円)



2025年12月期 第1四半期累計進捗

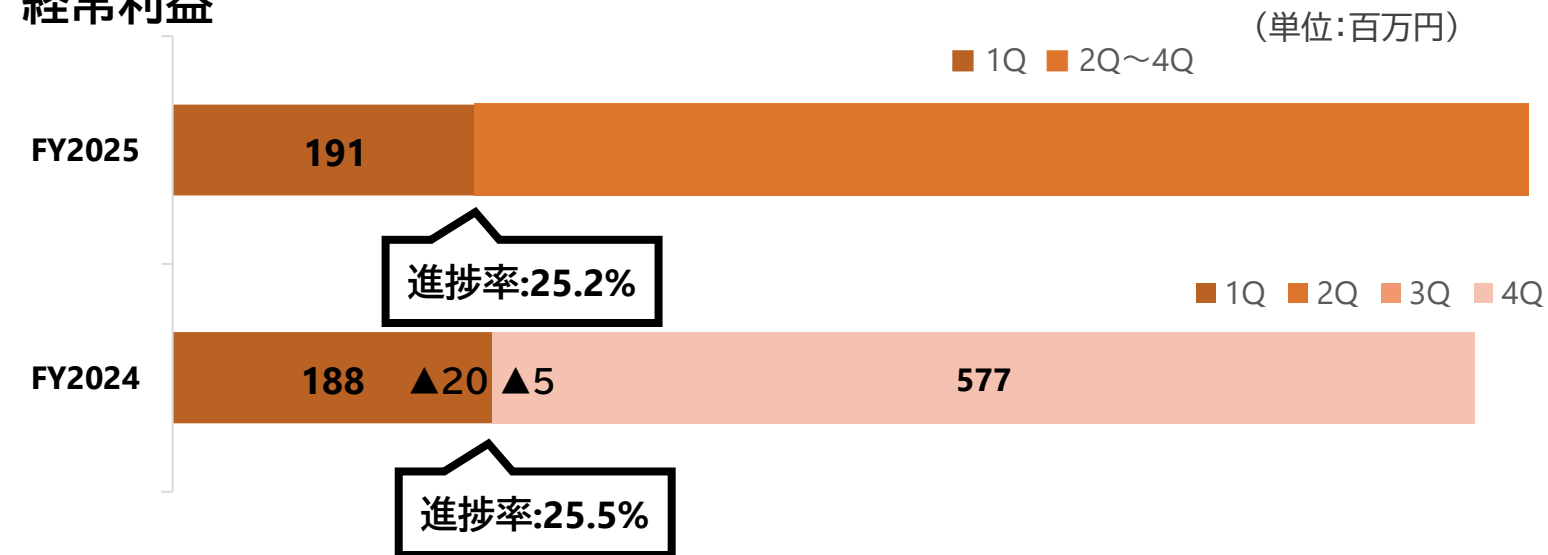
売上高



2025年12月期(予想)
12,500百万円

2024年12月期(実績)
11,711百万円

経常利益



2025年12月期(予想)
760百万円

2024年12月期(実績)
741百万円

当社の最新情報を配信します

当社では、投資家の皆様に当社の最新情報をお届けするため、IRニュースメールの配信をいたします。

下記URLもしくはQRコードにアクセスいただき、必要情報をご入力の上、ご登録下さい。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=1724>

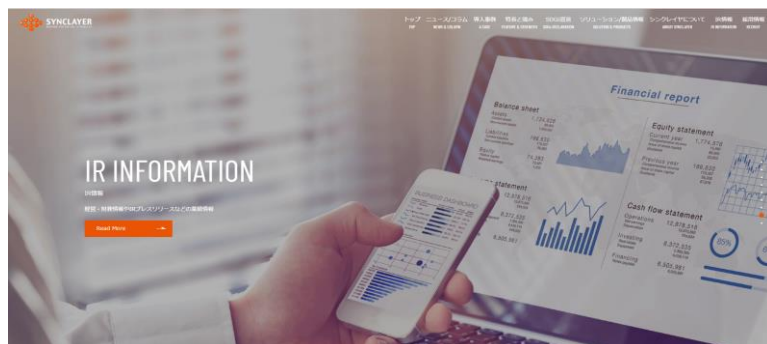


ホームページのご案内

シンクレイヤに関する様々な情報をホームページでご覧になれます。

ホームページでは「会社概要」や「IR情報」など多くの情報を発信しています。

<https://www.synclayer.co.jp>



MAKING POTENTIAL A REALITY

GIGABIT NETWORK SOLUTION
SYNCHRONIZED LAYER

APPENDIX

社名 シンクレイヤ株式会社

代表者 代表取締役社長 山口 正裕

本社所在地 愛知県名古屋市中区千代田二丁目21番18号

設立 1962年5月2日

資本金 8億3,574万5,393円

従業員数 169名(連結:267名)

グループ会社 ケーブルシステム建設株式会社
奥田電気工業株式会社
愛知電子(中山)有限公司

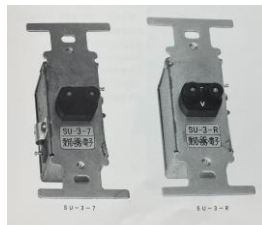
事業内容 ケーブルテレビシステム及び情報通信システム関連の設計、施工、保守及びコンサルタント
ケーブルテレビシステム機器、情報通信システム機器及びそれらの周辺機器の製造、購入及び販売
ケーブルテレビシステム、情報通信システムの導入に関する情報の提供、教育及び指導



シンクレイヤグループの歩み

1962

愛知電子株式会社を設立
直列ユニットの開発



1973

株式会社愛起(現:ケーブルシステム建設株式会社)を設立



1977

可児工場開設



1981

国内初の商用CCISシステムを納入

1994

海外生産拠点として愛知電子(中山)を設立

1996

国内初の商用ケーブルインターネットシステムを納入

2002

「シンクレイヤ株式会社」へ商号変更

2003

日本証券業協会JASDAQへ上場(証券コード 1724)

2011

国内初のRfG対応機器及び低受光型V-ONUを発表

2015

10G-EPONシステムを納入



2021

大型工事案件、機器販売の拡大により過去最高益を達成

2022

ローカル5G実証実験への参画

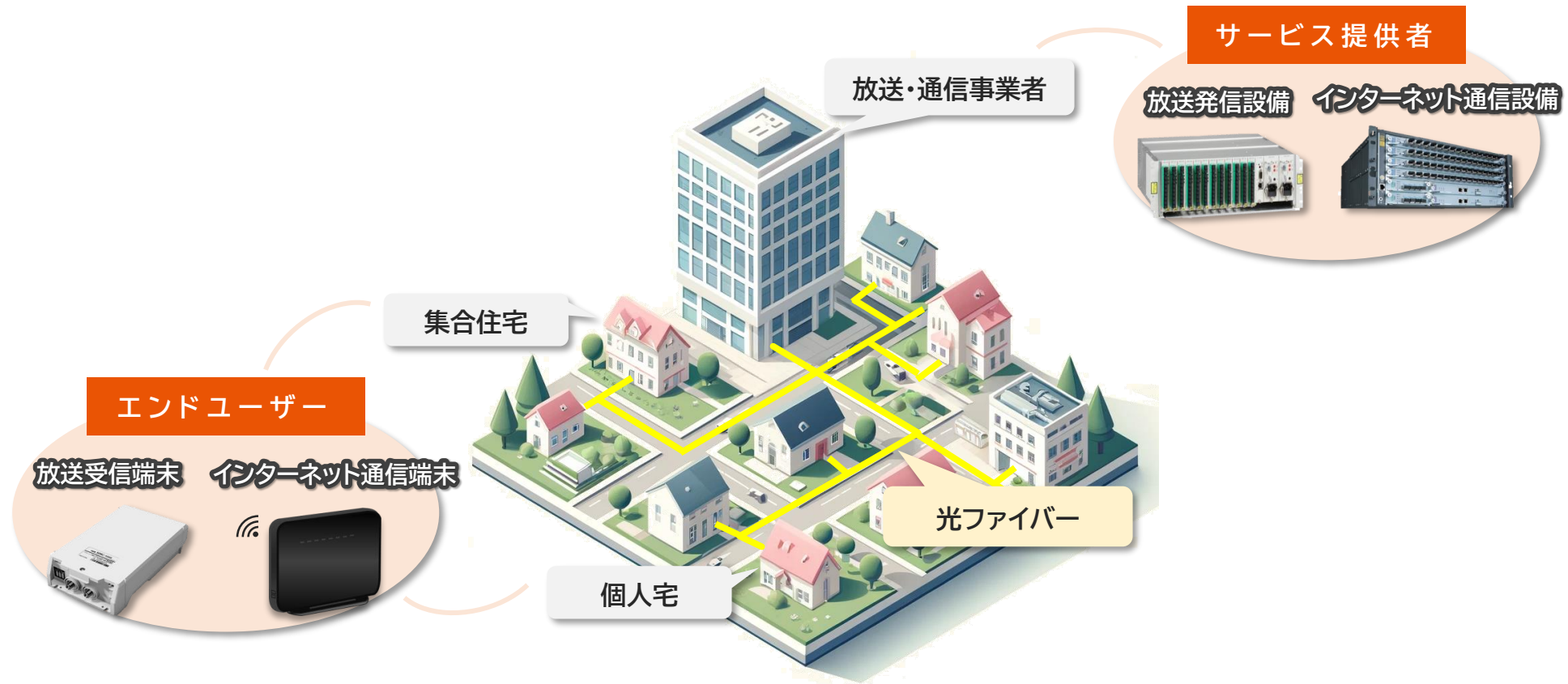


2024

SYNC Labo開設

シンクレイヤが提供する製品・システム(概要)

インターネットやテレビ放送を届けるサービス提供者からその消費者まで、
システムや機器などの技術を提供



工事・機器販売・保守サポートまで対応可能

2つの事業部門により「情報インフラ全体の構築」を行う

1

トータル・インテグレーション部門



放送・通信センター設備の提供及び
光ファイバーネットワークの設計・工事

2

機器インテグレーション部門



エンドユーザー宅に設置する
光端末(放送用・通信用)の提供

放送・通信事業者のシステム設備を一貫してサポート
設計・施工・保守までを当社で行う「施工管理会社」の役割を持つ



ニーズに沿った
ネットワーク設計



施工



保守・メンテナンス

時代に合った最先端の放送・通信機器の開発・製造を行い、
放送・通信事業者のニーズに沿って販売する「メーカー」の役割を持つ



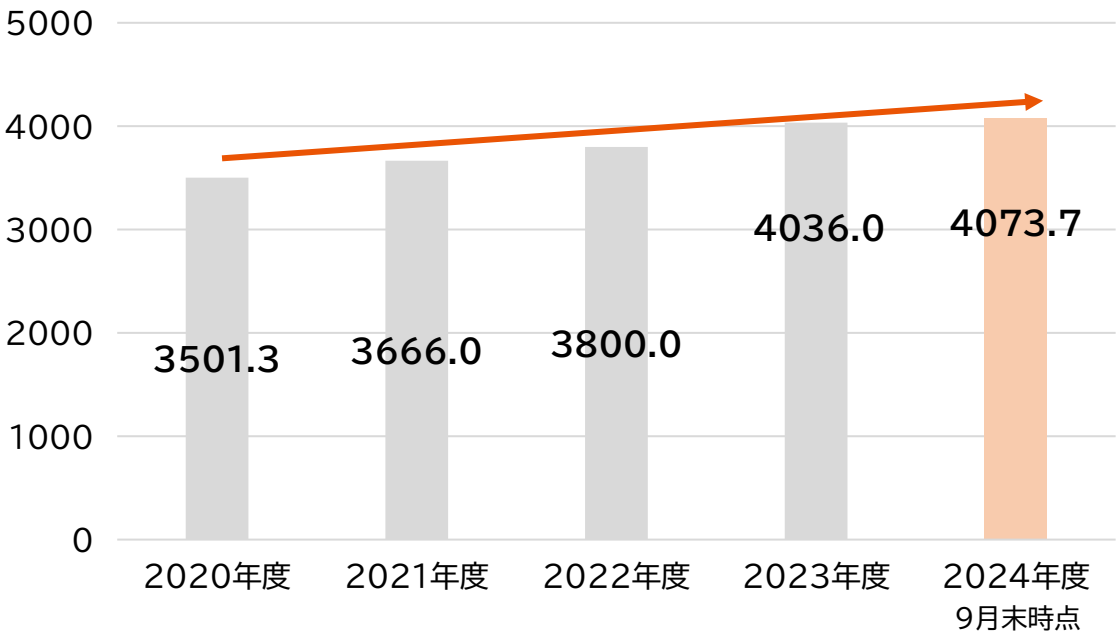
固定ブロードバンド回線業界の市場環境

光回線サービスの契約数は4,073.7万件(半年間で37.7万件増加)

CATVアクセスのFTTH化や全戸一括型インターネットの需要などにより緩やかに成長

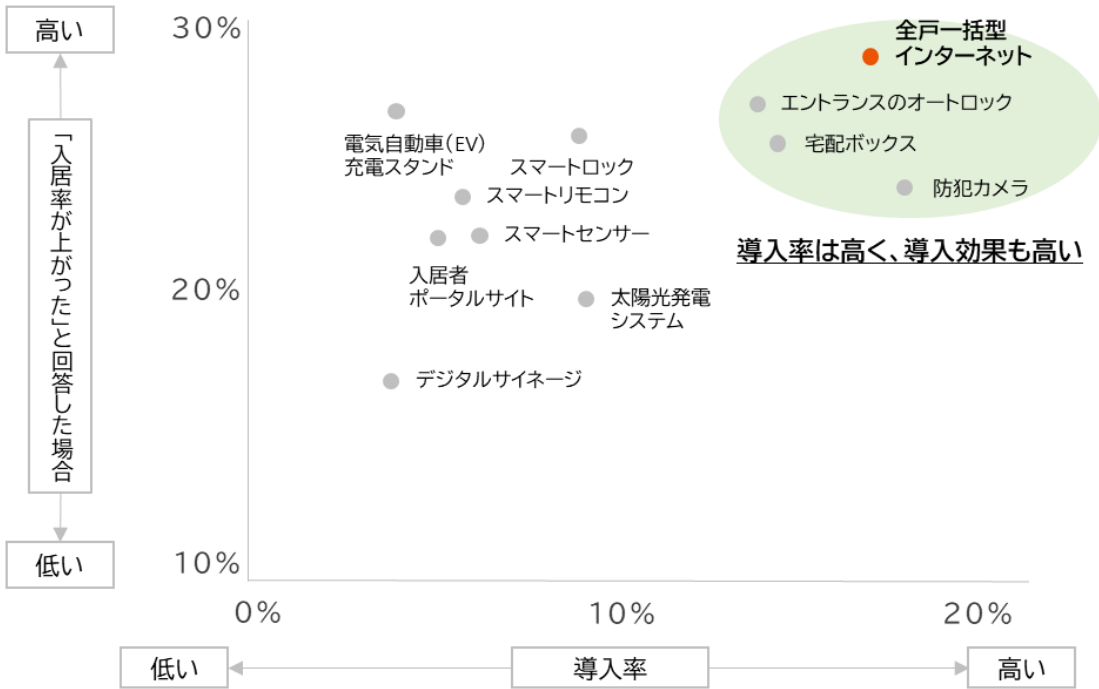
光回線サービス契約数は緩やかに成長

(単位:万人)



参考:MM総研「ブロードバンド回線事業者の加入件数調査」(2024年9月末時点)をもとに当社作成

全戸一括型インターネットは需要が高い



参考:MM総研「集合住宅のデジタルツール導入実態調査」(2024年11月時点)をもとに当社作成

1月

■国内初！50Gbpsの超高速光インターネットサービス

新潟県にてフィールド実証開始

新潟県のケーブルテレビ事業者と協業し、国内初の試みとなるFTTHにおける50G-PON規格のフィールド実証を開始。

■テレビ共同受信施設の老朽化問題を解決

VHF伝送用増幅器の受注を開始

業界で唯一VHF帯の共聴用増幅器を製造。施設の老朽化が深刻化している中、リプレースの利便性を考慮して開発。



幹線分岐増幅器『VTBA-26J』

延長増幅器『VEA-35U』

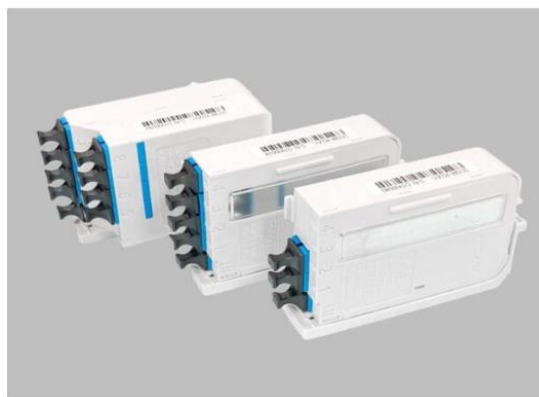
2月

■「ケーブルテレビテクノフェア in KANSAI 2025」 出展

2月14日(金)にOMMビル(大阪マーチャングアイスマート)にて開催された展示会に出展。

■光スプリッタモジュールの販売開始

FTTH化に欠かせない光スプリッタモジュールを開発・販売開始。徹底した現場主義の機器設計で他社製品との差別化を図る。



左からSOSM-8S、SOSM-4S、SOSM-2S

3月

■2024年度グッドデザイン賞を受賞したSORC-101Rの販売を開始

主力製品の映像用光回線終端装置(V-ONU)を従来品よりも使いやすく、仕様を変更。業界トップクラスの出力レベルを実現しながら、消費電力は50%をカット。現場主義のデザインだけでなく、環境にも配慮し、廃棄の際には簡単にリサイクルできる仕様。

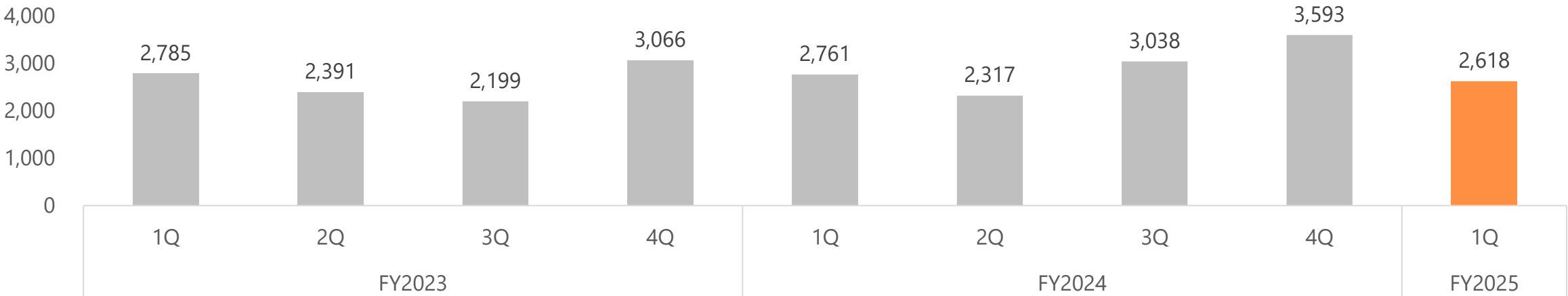




売上高・営業利益推移

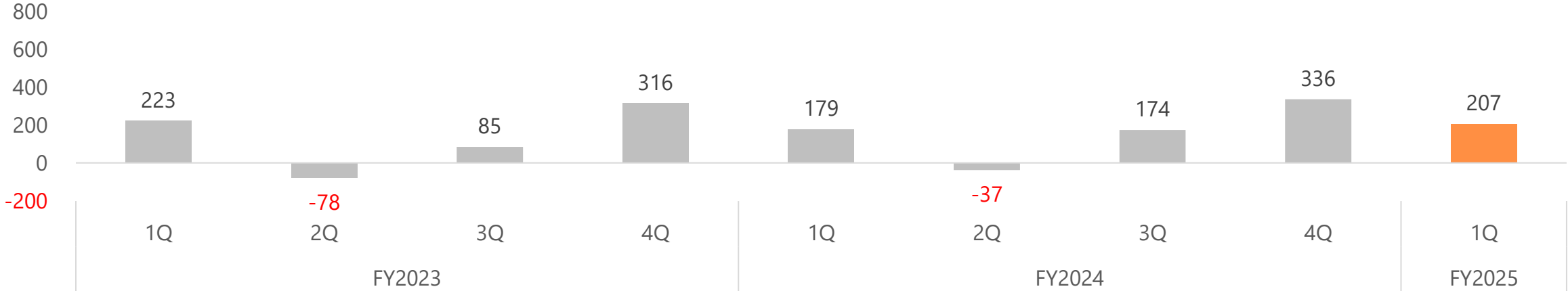
四半期連結売上高の推移

(単位:百万円)



四半期連結営業利益の推移

(単位:百万円)



2025年12月期業績(指標)

	FY2024 1Q累計	FY2025 1Q累計	前年同期比 (増減額／率)
自己資本利益率 (ROE)	2.36%	1.98%	▲0.38pt
1株当たり当期純利益 (EPS)	29.23円	26.30円	▲2.93円

	FY2024 期末累計	FY2025 1Q累計	前年期末比 (増減額／率)
自己資本比率	54.1%	55.1%	1.0pt
1株当たり純資産 (BPS)	1,320.51円	1,322.02円	1.51円

2025年12月期 第1四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	FY2024 1Q	FY2025 1Q	前年同期差	前年同期比
売上高	2,761	2,618	▲ 143	▲5.2%
売上総利益	609	623	13	2.3%
販売費及び一般管理費	429	415	▲ 14	▲3.4%
営業利益	179	207	28	15.8%
経常利益	188	191	2	1.3%
税金等調整前 四半期純利益	188	191	2	1.2%
法人税等合計	53	68	15	29.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	135	122	▲ 13	▲9.8%

2025年12月期 第1四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

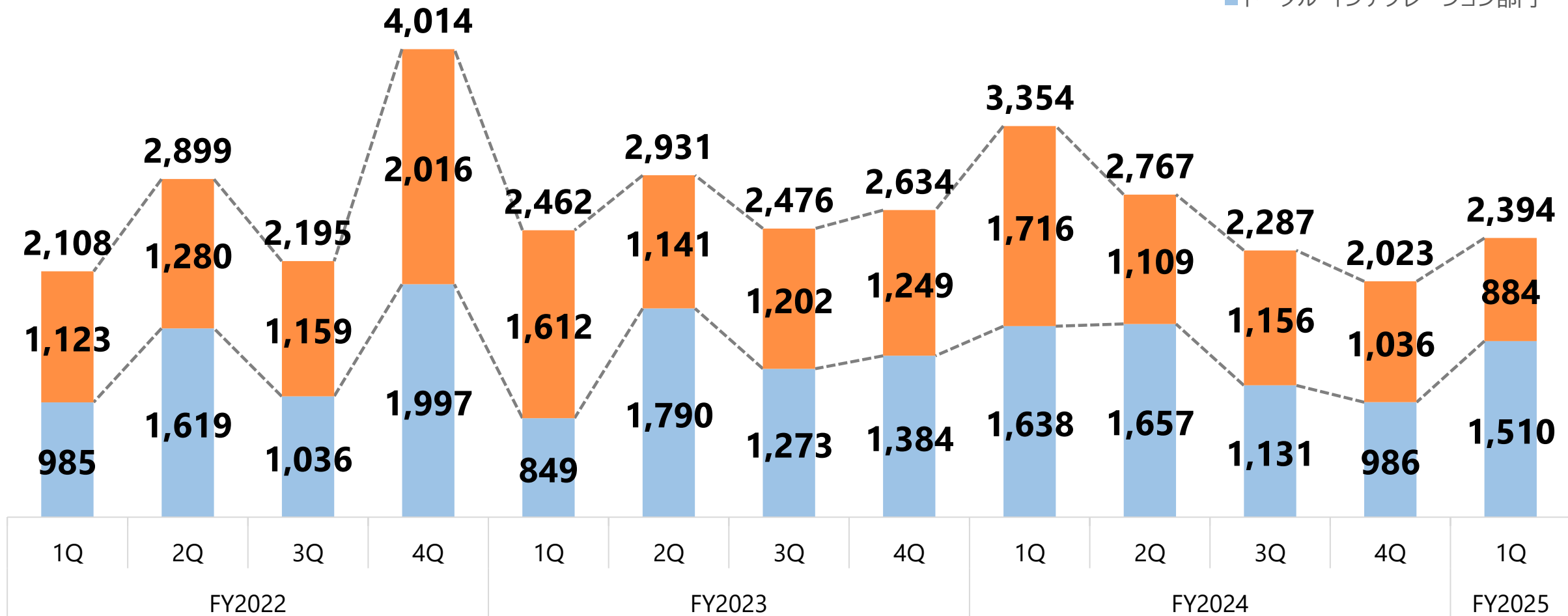
科目	FY2024 期末	FY2025 1Q	前期差
流動資産	7,544	7,355	▲ 188
固定資産	3,808	3,817	9
(うち 有形固定資産)	2,791	2,797	5
(うち その他固定資産)	1,016	1,019	3
資産合計	11,352	11,173	▲ 179
流動負債	4,433	4,200	▲ 233
固定負債	772	819	46
負債合計	5,206	5,019	▲ 186
純資産合計	6,146	6,153	7
自己資本比率	54.1%	55.1%	1pt

事業部門別 四半期受注高推移

受注高

(単位:百万円)

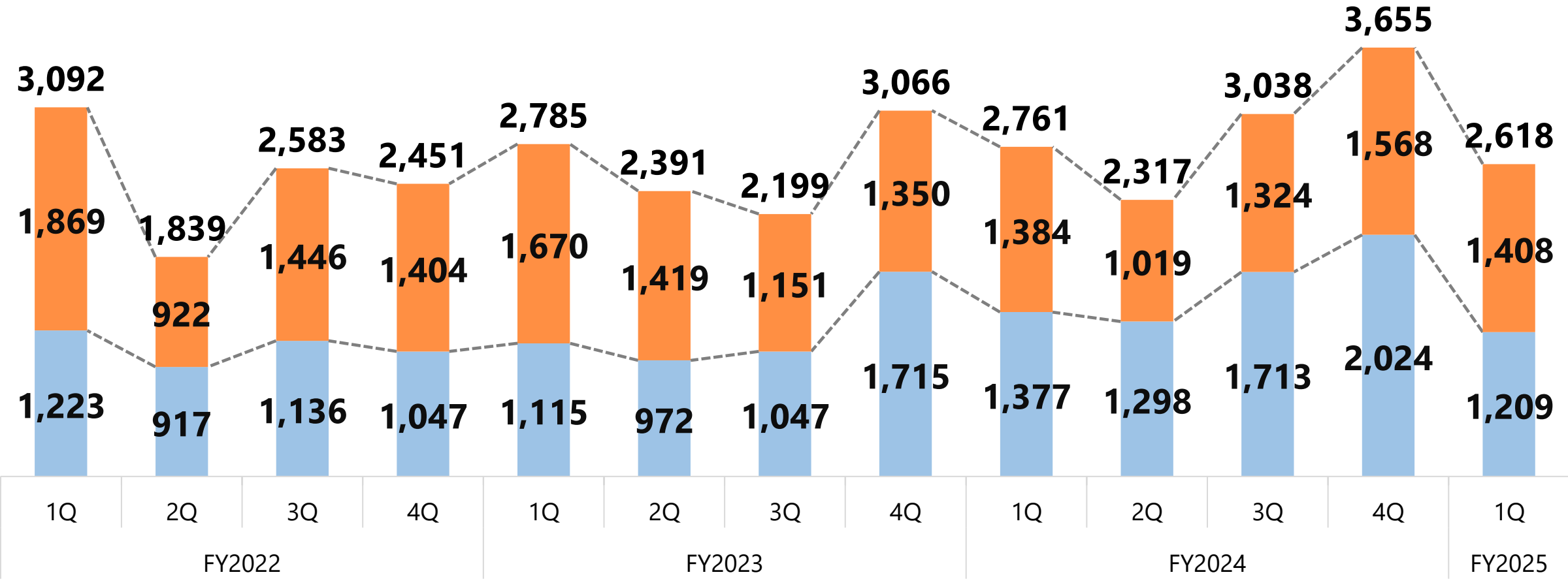
■ 機器インテグレーション部門
 ■ トータル・インテグレーション部門



事業部門別 四半期売上高推移

売上高 (単位:百万円)

■ 機器インテグレーション部門
■ トータル・インテグレーション部門

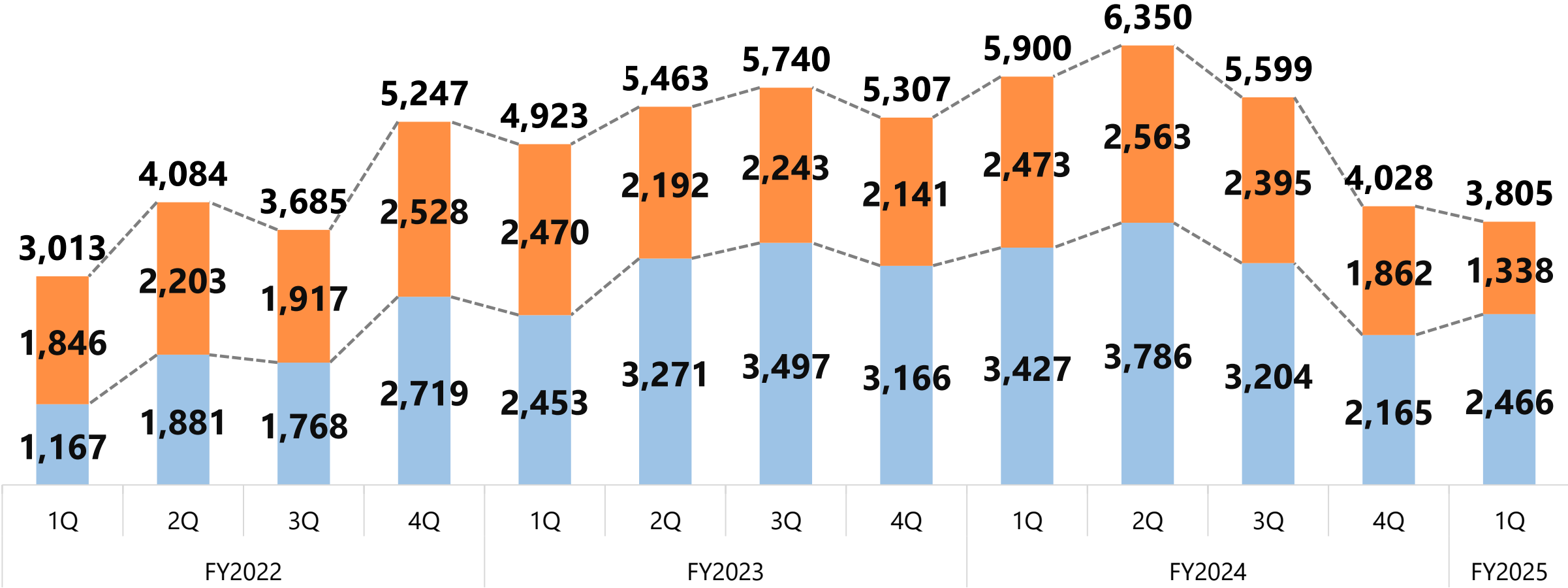


事業部門別 受注残高推移

受注残高

(単位:百万円)

- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門



- ✓本資料は、投資の参考に資するため、シンクレイヤ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ✓本資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- ✓本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。
- ✓本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いいたします。

■IRに関するお問合せ

MAKING POTENTIAL A REALITY

シンクレイ株式会社

広報室

TEL: 052-242-7875

E-mail: ir@synclayer.co.jp